

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真 GT
山行NO. 1860	
日時 2020/04/04 (土) 晴・上部強風	
山域 八ツ・蓼科山 (2530.7m)	
コース 長泉5:00ー諏訪 ICーピラタス・スキー場 (トイレ)ー竜源橋下駐車場ー登山口 発8:37ー蓼科山・將軍平分岐10:21ー蓼科山荘11:52ー蓼科山12:41ー昼食13:15~44ースズラン峠15:15ー登山口15:30	
累計標高差 上り 竜源橋登山口約1650m~蓼科山2531m=約881m 下り 同上	
快適度 (5段階評価) 4 (將軍平下やや藪うるさい)	
参加者 後藤、加藤、星、井上=4名	
<h2>延々とつづく氷道</h2>	

久しぶりの蓼科詣で。長泉5:00発。富士ICでK、Hを拾う。今回は、H、Iの上っていない蓼科山を選んだ。諏訪南ICからアプローチ。途中でコンビニがなかったので、ピラタス・スキー場のトイレを借りた。綺麗なウオシュレットで有難かった。



竜源橋登山口

竜源橋下駐車場から出発。天気は良い。水源地脇から上ったが登山道でなかった。ビーナス・ラインを上り返し正規登山口から再出発。樹林帯で凍った道が続く。30分上ったところで、堪らずアイゼン装着。大きさを調整していなかったHのアイゼンがすぐ外れた。

アイゼンは入山前に調整していなかった。これは基本的でない。いったん外して、ネジを緩め一目短くする。ところが、車に「ねじ回し」を置いてあったが、持参しなかった。

困ったと思ったらKが「このシャレルのアイゼンは、ねじ回しが付いている」という。アイゼンは、元々、御殿場のNから私が譲り受けたものをKに上げた。だけど、その「ねじ回し」は知らなかった。確かにバンドを締めるリングの形状が、「ねじ回し」になっていた。ひとつ勉強になった。一目詰めたら、ジャスト・フィット。良かった。ねじ回しは、なかなか「おシャレ(ル)」だね。



シャレル・アイゼン



リングにねじ回し

前を三名歩いていた。年配者の感じだったが、全員、最近見られなくなった、「尻皮」を付けていた。カモシカの皮がサイコーらしいが、私は「年より臭くて」いやだ。

將軍平・蓼科山荘分岐の天祥寺平まで案外長い。天祥寺平から仰ぎ見る蓼科山は素晴らしい。ただ、蓼科山は樹林帯が八合辺りまで伸びているので、雪化粧が見られず残念。分岐で休憩。空腹を感じたの



天祥寺平



タイ焼き





天祥寺平から蓼科山

で腹を満たす。K手製の「タイ焼き」をいただく。美味しかった。道標を左折して將軍平に向かう。上りのトレースはなく、下りのトレースだった。樹林帯を黙々上る。雪は深くなく締まっているので歩き易い。途中、大きなガレ場を通過する。上から若い男性が下りて来た。随分、早い。上りがキツくなった。今回の山は、全体で標高差が1000mない。天祥寺平から將軍平の標高差は400m。しかし、キツイ。やっぱり、3時起床、5時発が原因だろう。上れど上れど蓼科山荘は遠かった。背の低いブッシュがうるさかった。





蓼科山荘・將軍平

ようやく蓼科山荘着。苦しい上りだった。休憩するが寒い。すぐ出発。山荘から踏み跡が多くなり、歩きやすくなった。上からド派手なファッション・モデルみたいな、ご婦人が下りてきた。スタイルは良い。聞けば、白樺高原スキー場七合目から来たという。こちらは、標高差が700mと楽ちん。

「上は風が強い。上っ張りを着たほうが良い」といった。次第に展望が広がる。しかし、雲が多くスッキリしない。今年は、権現岳・三ツ頭、横岳・杣添、硫黄岳、蓼科山とよく上って来た。ただ、恒例の



上部の上り

赤岳を上れなかったのは心残り。恒例＝高齢か??

上から数人下りて来た。中に「六本アイゼン」の輩がいた。カチカチの雪面で腰が引けている。危険極まりない。思わず「こんなアイゼンでは危険です」といってしまった。本人もそれを承知していた。困ったものだ。



蓼科山



タテシナ特製アイス



蓼科山頂ヒュッテ

頂上下でシュカブラの「タテシナ・アイス」を頬張った。なだらかになり、ゴロゴロ岩を越えて頂上着。

どこかのご婦人に集合写真を撮ってもらった。今回も12時を回ってしまった。昼食を早く食べたいのですぐ下山。

頂上から西南に回り込むと、暴力的な風の洗礼。蓼科は強風で有名。ゴロゴロ岩をこなし樹林帯に逃げる。下山道は、ガジガジの氷道だった。今年の少雪を象徴していた。とにかく腹が減った。今回で3回連続「空腹行脚」だ。やっぱり日帰りは時間が厳しい。13:15、風を避け昼食。ビヤをやってホッと一息。私が持参した「初物ワラビ」を皆でガツガツ食べた。



昼食



雪山でワラビを食う



ガジガジ下山道

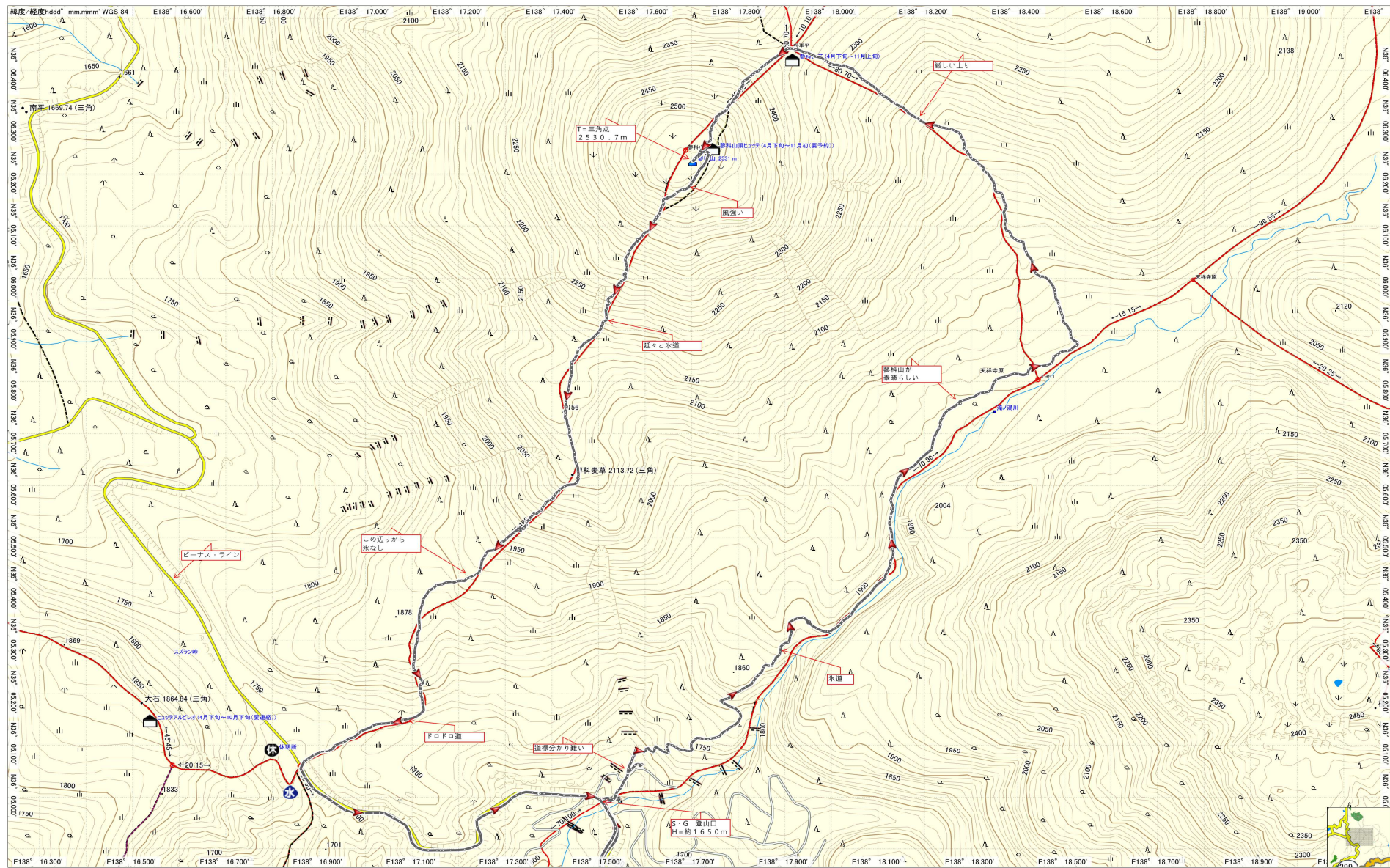


スズラン峠

下山は、物凄い氷道だった。これが延々と続いた。三角点の2114mで一旦、アイゼンを脱いだが、その下で再び履いた。ただ、女性軍はノー・アイゼンでスイスイ。ま、荷物が重いと氷道は厳しい。無事、スズラン峠着。標高差の割に厳しい山だった。

温泉に入ろうと、「滝の湯」に入館したが、1400ー+消費税でやめた。すぐ下の、「小斉の湯」は、税込みで700ー。座敷の休憩所利用可。こちらに入った。少し塩分がある、サラサラの綺麗な温泉だった。

温泉後は、「長寿更科」で空腹を満たし、アルコールの消毒も。諏訪の酒「高天」は美味しかったが、何故かうすい気がした。疲れていると、案外、味覚が狂う。(コロナ??)ハツの雪山は今回で賞味期限が切れたか。今回も完全燃焼。満足いく山でした。(了)



Japan Topo 10M Plus V2
 Copyright © 2014 Garmin Ltd. All Rights Reserved.

2020/04/05 9:50:14

GARMIN

